

☆ 新プランに掲げた重点施策等の平成18年度における主な取組

《第1章》子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

○ 市民・地域ぐるみで進める子育て支援の風土づくり

社会全体で子育てを支援していく風土づくりを進めるため、次の事務事業を実施しました。

ア 子どもを共に育む京都市民憲章の制定

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ社会を目指し、大人として何をすべきか、市民共通の行動規範となる「子どもを共に育む京都市民憲章」を市民とのパートナーシップによって制定しました。（平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定）

【保健福祉局 児童家庭課，教育委員会事務局 家庭地域教育支援担当】

イ 子ども・子育ていきいきフェアの開催 ＜予算額：4,000千円＞

平成17年度に引き続き、市民・地域ぐるみで子育てを支え合う気運を醸成する契機とするため、子どもと家庭に関わる保健・医療・福祉・教育各分野で活動する機関・団体、企業や学生などが一堂に会するイベントを開催しました。

・平成19年1月20日（土）みやこめっせ第3展示場

【保健福祉局 児童家庭課】

ウ 083, 273 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の拡充：《第2，4章関連》 ＜予算額：11,405千円＞

市民の自主的な子育て支援活動を活性化するため、誰もが気軽に参加、交流できる場所を新たに2箇所（北区及び山科区）開設し、既設と合わせて市内計4箇所で子育てアドバイザーによる相談等を行いました。

・平成18年10月開設：北区（西賀茂プレイセンターF K C）

山科区（きつずる一む おおやけ）

（参考）数値目標設定施策 4箇所（平成18年度）→20箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

エ 055 地域子育て支援ステーションの拡充：《第2章関連》 ＜予算額：43,350千円＞

小学校区を基礎単位に、市民に身近な地域レベルでの相談・支援センターとして、新たに10箇所の保育所，児童館を指定し、市内計150箇所において、子育て相談・講座の開催などを行いました。

【保健福祉局 児童家庭課】

オ 006, 067 育児支援家庭訪問事業：《第2章関連》 ＜予算額：73,401千円＞

子どもの養育について支援を必要としながらも自ら積極的に支援を求めない家庭に対し、訪問等による援助活動を行いました。（平成17年12月から、子ども支援センター及び保健所で実施）

【保健福祉局 児童家庭課，健康増進課】

《第2章》次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

○ 110 みやこユニバーサルデザインの推進 <予算額：11,000千円>

みやこユニバーサルデザイン賞を創設し、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたまちづくり、ものづくり、サービス提供、普及活動などを実践している京都市内の団体、事業者、学校、学生サークル、NPO、個人の活動事例を募集しました。

また、みやこユニバーサルデザインに対する関心を高め、親しみやすいイメージを与えるシンボルマークを募集しました。

平成18年10月に国立京都国際会館で開催された国際ユニヴァーサルデザイン会議には京都コーナーを設置し、京都府下の大学、福祉関係団体、企業等のユニバーサルデザインに関する様々な取組の紹介やイベントを実施しました。

平成19年3月には、子どもから大人まで、幅広い世代がユニバーサルデザインの考え方を楽しく分かりやすく理解できるよう、冊子「見つけたよ！京都のユニバーサルデザイン」を発行しました。

【保健福祉局 保健福祉総務課】

○ 112 宝が池公園「新・子どもの楽園」整備 <予算額：291,000千円>

自然や人との触れ合いや様々な体験を通じて、子どもたちの感性を豊かにし、次代の京都を担う人材をはぐくむ場を創出するため、施設の老朽化が進む宝が池公園「子どもの楽園」の拡張、再整備に取り組みました（工事期間：平成18～平成19年度）。

平成18年度 既存施設解体撤去工事、実施設計、基盤整備工事

（参考：平成19年度 園路広場、駐車場等整備工事（予定））

【建設局 緑政課】

○ 127 延長保育の拡充 <予算額：472,589千円>

就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、延長保育実施保育所を136箇所から150箇所に拡充しました。

（参考）数値目標設定施策 150箇所（平成18年度）→190箇所（平成21年度）

【保健福祉局 保育課】

○ 129 一時保育の拡充 <予算額：88,684千円>

保護者の断続的・短時間就労に伴う一時的な保育（非定型）や、保護者の傷病などによる緊急時の保育（緊急一時）、保護者のリフレッシュを図るための保育といった様々な保育需要に対応できるよう、また、未就園児童への子育て支援サービスの提供という役割を果たすことができるよう、一時保育実施保育所を28箇所から29箇所に拡充しました。

（参考）数値目標設定施策 29箇所（平成18年度）→42箇所（平成21年度）

【保健福祉局 保育課】

○ **130** 休日保育の拡充 <予算額：7,322千円>

日曜・祝日に勤務する保護者等に対する保育サービスとして、休日保育実施保育所を2箇所から3箇所に拡充しました。

(参考) 数値目標設定施策 3箇所(平成18年度)→5箇所(平成21年度)

【保健福祉局 保育課】

○ **008, 142** 配偶者等に対する暴力の防止に関する取組 <予算額：4,020千円>

平成18年度は、新たに母子家庭・DV被害者等のための自立支援パソコン講座を開催するなど、配偶者等からの暴力による被害者の支援に取り組みました。

【文化市民局 男女共同参画推進課】

○ きょうと男女共同参画推進プランの改定 <予算額：4,463千円>

平成14年度から22年度を計画期間とする「きょうと男女共同参画推進プラン」の前半期が終了するに当たり、今日的な社会経済情勢の変化に対応し、後半期において重点的に取り組むべき具体的施策を明らかにするため、プランの改定を行いました。

交際相手等からの暴力に関する若年者層への啓発の推進(講座「デートDVって何?」の開催など)、男女共同参画社会づくりに取り組む団体等への支援の充実(市民活動サポート事業の実施など)等の事業を新たにプランに掲げました。

【文化市民局 男女共同参画推進課】

《第3章》子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり

○ **193** 子どもの事故防止実践マニュアルお届け事業 <予算額：3,000千円>

子どもたちの死亡原因の第1位である「不慮の事故」の防止と普及啓発を図るため、子ども保健医療相談・事故防止センターで作成した「子どもの事故防止実践マニュアル」及び「子どもの事故の応急手当マニュアル」を、「出産お祝いレター」と共に子どもが生まれたすべての家庭に配布しました。

【保健福祉局 地域医療課】

○ **199** 第8次京都市交通安全計画の策定

子どもをはじめ、高齢者、障害のある方など、自動車等と比較して弱い立場にある交通弱者の安全を確保することなどを目的として、適切かつ効果的な交通安全施策を推進するため、第8次京都市交通安全計画を策定しました。

【文化市民局 地域づくり推進課】

○ **200, 211** 地域の安心安全ネットワークの形成：《第4章関連》 <予算額：5,650千円>

身近な地域での日常生活における安心と安全を市民と行政のパートナーシップで守る「地域の総合的な安心安全ネット」を構築するため、平成16年度から「地域の安心安全ネットワーク形成事業」を実施しています。平成18年度は、これまでの取組の継続と拡大を図り、新規47学区増の72学区で事業を実施しました。

【文化市民局 地域づくり推進課】

- **200, 211** 地域ぐるみの子ども安全推進：《第4章関連》 ＜予算額：83,000千円＞
 スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導，学校安全ボランティアの養成などを小学校全校で実施しました。他，防犯用緊急連絡インターホンの整備（5年計画2年次目，総事業費2億2,500万円）などを推進しました。
 【教育委員会事務局 体育健康教育室】
- **200, 211** 子どもの安心安全情報等の発信機能を持つPTA・おやじの会ホームページの構築：《第4章関連》 ＜予算額：18,045千円＞
 平成17年度に引き続き，PTA・おやじの会ホームページを活用し，登録した保護者の携帯電話等に子どもの安心安全情報等教育情報をメール配信しました。
 【教育委員会事務局 生涯学習部】

《第4章》次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

- **215** 国際o y a j iサミットinKYOTO開催 ＜予算額：5,000千円＞
 世界の「o y a j i」から父親の家庭や地域における子育て参加のあり方を学び，共に考える交流会「国際o y a j iサミットinKYOTO」を開催しました。
 【教育委員会事務局 生涯学習部】
- **227** 子育てサポート推進チーム事業 ＜予算額：8,822千円＞
 こどもみらい館に保育カウンセラー等の専門家からなる「子育てサポート推進チーム」を設置し，保育士・幼稚園教諭に対するカウンセリングマインドの向上や保幼小連携の在り方を研究しました。
 【子育て支援総合センターこどもみらい館】
- **238** 理科・環境教育の充実 ＜予算額：162,000千円＞
 青少年科学センターのプラネタリウム更新の他，京都で見られる生物や天然記念物，博物館等を分かりやすく紹介する「京都わくわく理科マップ」の作成，環境にやさしい学校（K E S 学校版）」の認証への全校での取組，風力発電設備の設置などを進めました。
 【教育委員会事務局 教育環境整備室，学校指導課，青少年科学センター】
- **239** 国語力・読解力の向上 ＜予算額：28,000千円＞
 児童生徒の「生きる力」「確かな学力」を育むうえで極めて重要な基礎となる読解力・国語力を培うため，市民ボランティアの参画による学校図書館の充実や学校図書ナビゲーションシステム（子ども図書ナビ）の導入（5年計画2年次目）など，国語科はもとより学校教育活動全体を通じた取組の充実を図りました。
 【教育委員会事務局 調査課，学校指導課】

○ **272 一元化児童館の整備** ＜予算額：172,000千円（※）＞

上里児童館（西京区）、松陽児童館（西京区）の2箇所を新設しました。また、久我の杜児童館（仮称）（伏見区）の新設に向け、整備を行いました。

唐橋児童館（仮称）（南区）、藤城児童館（仮称）（伏見区）、北山児童館（仮称）（北区）、以上3箇所の設計等を行い、整備に向け着手しています。

（※）学校施設との合築施設として別途予算計上されている久我の杜児童館と、北山ふれあいセンター（仮称）整備費において一括予算計上されている北山児童館の整備費を除く。

（参考）数値目標設定施策 105箇所（平成18年度）→130箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課、障害企画課、教育委員会事務局 教育環境整備室】

○ **274 学童クラブ事業の実施時間の延長** ＜予算額：25,345千円＞

学校の長期休業中及び土曜日の学童クラブ事業の開所時間を繰り上げることで、これまで開所待ちしていた子どもたちの安心安全を確保しました。

・実施時間 9時～18時 → 8時30分～18時

【保健福祉局 児童家庭課】

○ **295 京（みやこ）・食育推進プランの策定**

これまで保健、福祉、教育、生産流通・消費等の各分野において推進してきた食育に関する取組の充実を図り、「すべての市民が心身ともに健やかにくらすまち京都」を実現するため、「京（みやこ）・食育推進プラン」を策定しました。

【保健福祉局 健康増進課】

○ **298 食教育の充実** ＜予算額：5,000千円＞

日本料理アカデミーとの連携による「食育カリキュラム」を実施し、実践事例集を作成するとともに地産地消（知産知消）などの取組を推進しました。

【教育委員会事務局 学校指導課、体育健康教育室】